

変わらないと思っていた日常が
2024年1月1日、能登半島地震によって一変した。

深刻な医療提供不足
あなたなら、どのように医療へ貢献したいと考えますか

被災者に寄り添うオンライン再診の取組みについて、NTTグループ三社よりお話しさせて頂きます。

発災後、能登の住民の多くが一斉に避難所に避難をしました
道路が分断され、避難先と能登の行き来にとっても時間を要するようになりました
その中でたくさんの医師や薬剤師が地域の医療を支えて残っていました
一方、避難者は急に目の前でつながっていた医師や薬剤師も含めた人と会えなくなったことに対する不安が大きくのしかかりました

私たちは、能登の医師と避難者をオンライン診療でつなぐことを決意しました。
能登の27医療機関、62の二次避難所に1件ずつ訪問して導入し、2024年11月30日時点で305回のオンライン診療を実施しています。
この取り組みで得た知見や仕組みを全国で活用できるよう、平常時から備える災害対策パッケージとして展開する予定です。

ここから時系列でお話をしてまいります。
1月15日に「能登半島地震のオンライン再診による地域医療再生PJ」を発足。
実現が困難とされていた被災地のオンライン診療を実現しました。

あくまで医療は生活の一部でしかない。
輪島の街づくりをする。被災した者同士ではないと得られない癒やしや共感がある。
能登の関係者の声を一番に尊重する。医療の復旧でなく、能登半島の医療の継続を目指す。
こういった想いを踏まえ

オンライン再診とは

オンライン診療の提供を通して
被災地を離れて避難された方々と被災地の医師のつながりを離れた環境でも維持させ
避難した方々が頑張って医療を継続させている医師・薬剤師のいる能登地域へ
あんしんして帰って来られる地域づくりをすること

オンライン診療は NTT コムオンラインのアプリ「ビデオトーク」を使用しました。
アプリのインストールは不要です。

医療機関がビデオトークの画面から患者の電話番号へショートメールを送ると、
患者のスマートフォンに URL が記載されたショートメールが来るので、その URL をクリ
ックするとオンライン診療を開始することができます。

ドコモが各医療機関へオンライン再診のタブレット提供をしていきました。
また NTT コミュニケーションズは高齢者のリアルタッチのフォローをドコモショップと
推進していきました。

加賀市避難所で初めてのオンライン診療。

「ごちゃまるクリニックの先生やスタッフは自分の子供のような存在。
ごちゃまるクリニックの先生とお話しできて感動して泣いた」
私たちがつなぎ、育みたかったものは、まさにこのような絆です。

オンライン再診が必要な人々に届くよう、あらゆる関係者が一丸となって全力で取り組み
ました。

9月の能登豪雨災害で私たちは仮設住宅の水没により避難した住民と
医療機関をオンライン再診でつなぎ、迅速に対応することができました。

今回の取り組みは、多くの称賛の声をいただくことができました。
さらに、平常時から利用可能な仕組みを求める声も寄せられました。
これを受け、わたしたちは能登半島地震で得た知見とつながりを活かしたパッケージを構
築し、全国へ貢献することに取り組んでいます。

自然災害が頻発する日本において、未来に活かすための貴重な仕組みと関係者とのつなが
りを確立しました。

能登半島地震から得たこういった知見とつながりを活かして NTT グループとして全国へ
貢献していきたいと考えています。

特に平時から安心・安全に暮らせる地域づくりを促進し、有事の際も迅速に対応出来るよ
う、ご視聴頂いているみなさまと今回の取組を引き続き推進していきたいと考えています。